

夢の実現へリニア中央新幹線 ③⑧
市民とともにリニアのまちづくり ⑧
ビジョン策定委員会地域委員会および幹事会の取り組み

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

今月は、ビジョン策定委員会地域委員会と幹事会の取り組み状況についてお伝えします。

問 リニア推進課（☎内線324）

地域委員会、各地域協議会などの取り組み状況

市内15の地域協議会などでは、リニアの波及効果を地域づくりを活かすため、既存の地域づくり計画などをベースに、リニアの波及効果という新たな視点から地域づくりの検討を行い、「リニアの波及効果と地域特性を活かした地域づくり計画書」をまとめました。

全体的に、地区が抱える課題としては、

①人口減少・少子高齢化に伴う農業などの後継者不足や地域コミュニティの維持

②医療・福祉、防災、道路、公共交通や公共施設といった日常の暮らしの充実

が第一にあげられ、こうした課題をリニアの波及効果を活かして解決するため、

①自然や歴史文化を活かした観光振興やにぎわいの創出

②農林業、工業、地場産業など産業



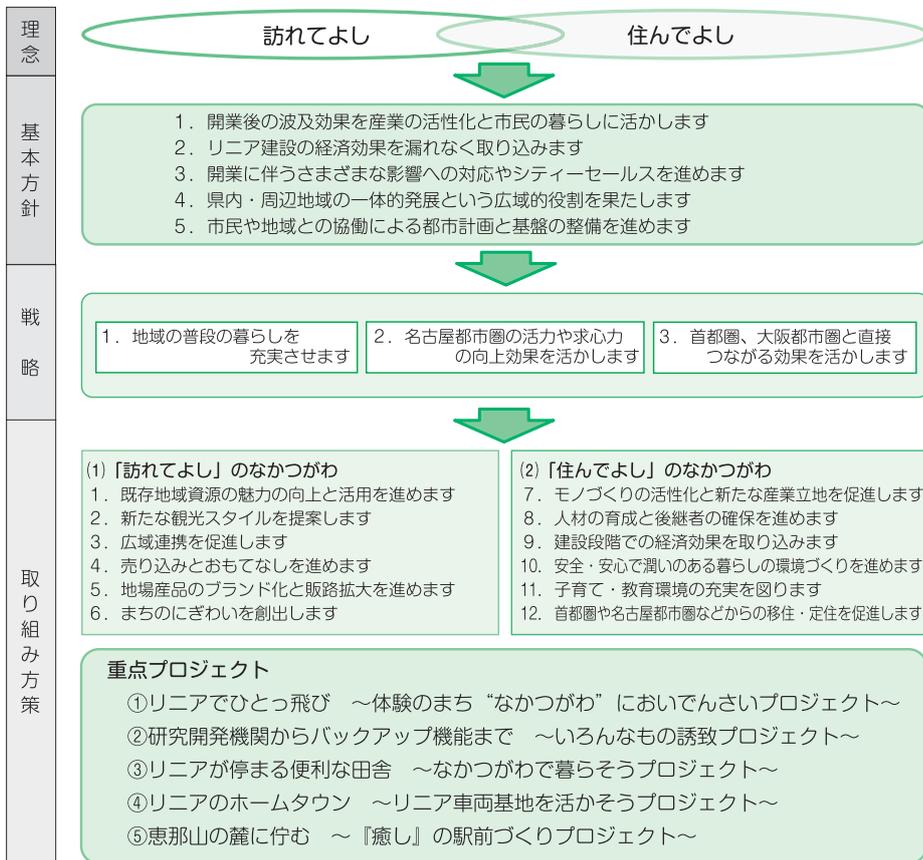
地域委員会での意見交換の様子

振興による働く場の創出
 ③リニア車両基地の従業者などをターゲットとした移住・定住の促進などに取り組んでいくという方向が導き出されました。

1月29日(火)の第3回地域委員会では、各地域の作成した地域づくり計画書をもとに作成された「各地域の具体的取り組み」について意見交換を行いました。

今後、各地域協議会などにおいて各地域の具体的な取り組みについて再度検討し、その結果をリニアのまちづくりビジョンに反映していく予定です。

「リニアのまちづくりビジョン」(素案)
 まちづくりの方向と取り組み方策の組み立て



幹事会の取り組み状況

幹事会では、リニアの波及効果を活かすためにどんな準備が必要か、開業後、実際の波及効果を活かしてどんな取り組みが出来るかという視点で、議論・検討を行っています。
 2月5日(火)の第5回幹事会では、各委員会できりまとめられた意見・

アイデアをもとに作成された「リニアのまちづくりビジョン」(素案)について、意見交換を行いました。
 (素案におけるまちづくりの方向と取り組み方策の組み立てについては表参照)
 今後、策定委員会と連携を取りながら、検討・修正作業などを行い、ビジョンを完成させていく予定です。